

日商産一発 第49号
2012年7月31日

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

商工会議所LOBO（早期景気観測）
――2012年7月調査結果――

LOBO調査（2012年7月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。
実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。
なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。
（アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 浪江・張替
TEL：03-3283-7839
FAX：03-3213-8716
E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

○調査期間：2012年7月13日～20日
○調査対象：全国の416商工会議所が3013企業にヒアリング
（東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	449	231	51.4%	北海道	44.2%
製造	731	393	53.8%	東北	54.5%
卸売	315	174	55.2%	北陸信越	50.0%
小売	740	364	49.2%	関東	54.0%
サービス	778	380	48.8%	東海	50.4%
合計	3013	1542	51.1%	近畿	42.6%
				中国	49.3%
				四国	73.1%
				九州	47.6%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）
※ DI値（景況判断指数）について
DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

――【2012年7月調査結果のポイント】――
業況DIは、悪化。先行きは好材料に乏しく、慎重な判断

7月の全産業合計の業況DIは、▲25.2と、前月から▲3.9ポイントの悪化。エコカー補助金等の経済対策による下支え効果が弱まっているうえ、超円高や電力不足等を背景に取引先の海外移転・調達が加速していることや、海外経済の減速に伴う輸出減から受注低迷が続く。また、天候不順等により夏物商品が不調だったことに加え、大手専門店（ドラッグストア・ホームセンター等）やコンビニ等が客層を多様化していることなどから競争が激化し、地域流通業の業況は一段と厳しさを増している。
先行きについては、先行き見通しDIが▲24.8（今月比+0.4ポイント）と、ほぼ横ばいとなる見通し。欧州の財政金融不安を背景に再び円高が進んでいることに加え、電力料金の値上げによるコスト増や、エコカー補助金終了による内需の反動減等、先行きへの不安は払しょくできず、好材料に乏しいことから、依然として慎重な見方が続いている。

産業別にみると、業況DIは、サービス業で改善、その他の4業種は悪化。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「生コンや砕石等、被災地での工事に必要な資材価格が上昇」（一般工事業）、「大手企業の設備投資は海外が中心。国内投資は低調なため、受注は厳しい状況」（一般工事業）、「新設の住宅建設は堅調だが、販売価格は安価に設定されている。そのため、皺寄せが下請け企業に及んでいる」（建築工事業）

【製造業】「中国やブラジル等、新興国向けの油圧機械部品の販売が減少」（油圧機械部品製造業）、「取引先が中国とアメリカに工場を建設し、生産を開始。今後の受注減を懸念」（工作機械等製造業）、「円高により受注が減少。先行きも不透明な状況が続く」（造船業）

【卸売業】「海外調達にシフトすることで赤字を免れているが、取引先のコストダウン要請が厳しく、限界に近い」（自動車関連部品卸売業）、「販売価格の下落や売上の低下が続き、業績は悪化。価格競争が進む中で、新規の仕事が増えなければ厳しい」（建築材卸売業）、「酒類販売のナショナルチェーンの進出により、地元小売店に大きな影響。それに伴い、自社の売上も減少」（酒類卸売業）

【小売業】「一部の店舗で夏のクリアランスを遅らせたことにより、足並みが揃わず、昨年と比べて盛り上がり欠ける」（商店街）、「ネット通販など、販売形態が多様化し、バーゲンでの集客力が減少しつつある」（着物販売）、「天候不順により客足が鈍い。クールビズや節電関連商品等の夏物需要も少ない」（総合スーパー）

【サービス業】「飲料関係の物流が7月からピークを迎え、好調に推移」（運送業）、「飲食情報サイトを活用したことで好調。経費はかかるものの、売上も大幅に増加」（飲食店）、「7月～8月に開催するスポーツ大会や研修会等での利用が見込まれる」（旅館）

ブロック・産業別業況DI（前年同月比：2012年7月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 25.2	▲ 25.8	▲ 18.1	▲ 23.6	▲ 43.1	▲ 15.6
北海道	▲ 25.3	▲ 21.4	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 36.0	▲ 20.8
東北	▲ 3.3	8.3	▲ 3.7	▲ 30.0	▲ 20.0	12.9
北陸信越	▲ 21.8	▲ 26.7	▲ 22.6	▲ 27.8	▲ 23.5	▲ 14.0
関東	▲ 25.9	▲ 23.1	▲ 27.0	▲ 18.0	▲ 42.3	▲ 15.0
東海	▲ 12.7	▲ 35.7	4.7	▲ 5.6	▲ 42.5	▲ 1.8
近畿	▲ 37.6	▲ 16.7	▲ 25.5	▲ 31.3	▲ 54.5	▲ 45.0
中国	▲ 31.7	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 40.0	▲ 65.2	▲ 10.5
四国	▲ 37.1	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 63.6	▲ 50.0	▲ 26.9
九州	▲ 35.4	▲ 72.2	▲ 16.1	▲ 11.8	▲ 56.3	▲ 25.0

ブロック・産業別業況DI（先行き見通し：2012年8～10月）

上段：2012年7月時点

下段：2011年7月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 24.8	▲ 26.3	▲ 22.2	▲ 17.9	▲ 36.0	▲ 19.0
北海道	▲ 33.6	▲ 45.3	▲ 27.6	▲ 32.8	▲ 33.1	▲ 33.1
	▲ 20.7	▲ 28.6	▲ 31.3	12.5	▲ 24.0	▲ 16.7
東北	▲ 36.4	▲ 41.7	▲ 45.5	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 31.6
	▲ 1.7	▲ 4.3	▲ 3.8	0.0	▲ 13.3	12.9
	▲ 3.2	11.1	5.0	14.3	▲ 7.7	▲ 21.7
北陸信越	▲ 22.6	▲ 37.9	▲ 6.3	▲ 27.8	▲ 30.3	▲ 16.3
	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 25.8	▲ 41.7	▲ 29.0	▲ 29.0
関東	▲ 28.1	▲ 28.8	▲ 30.4	▲ 19.7	▲ 36.5	▲ 21.7
	▲ 35.5	▲ 50.0	▲ 25.8	▲ 32.5	▲ 35.2	▲ 37.5
東海	▲ 19.0	▲ 14.3	▲ 17.2	▲ 5.6	▲ 42.5	▲ 10.9
	▲ 27.6	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 34.3	▲ 27.0
近畿	▲ 33.5	▲ 22.2	▲ 23.4	▲ 6.7	▲ 54.5	▲ 37.5
	▲ 42.9	▲ 63.6	▲ 43.2	▲ 31.3	▲ 45.8	▲ 31.6
中国	▲ 32.0	▲ 27.3	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 47.8	▲ 5.6
	▲ 38.5	▲ 66.7	▲ 34.5	▲ 41.7	▲ 29.6	▲ 42.9
四国	▲ 23.3	▲ 23.8	▲ 10.7	▲ 36.4	▲ 26.7	▲ 26.9
	▲ 40.5	▲ 55.6	▲ 24.1	▲ 50.0	▲ 27.6	▲ 56.7
九州	▲ 34.1	▲ 50.0	▲ 25.8	▲ 17.6	▲ 37.5	▲ 38.7
	▲ 34.6	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 27.3	▲ 38.9	▲ 17.2

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3カ月の先行き見通しDI（以下同じ）

【業況についての判断】

○ 7月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲25.2（前月比▲3.9ポイント）と、悪化。産業別にみると、建設業は、住宅エコポイント制度終了に伴うリフォーム工事の減少等により低調。製造業は、電力料金の値上げによるコスト増や、取引先の海外生産・調達の増強により受注が減少していることからマイナス幅は拡大。小売業は、天候不順等によりクールビズ・節電関連商品に期待ほどの動きがなかったほか、夏のセール時期が分散化したことにより客足が伸び悩み、大幅に悪化。サービス業は、震災の影響により昨年は中止となったイベント等が開催されるなど、観光や飲食関連で売上が好転したことから改善。

○ 向こう3カ月（8～10月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲24.8（今月比+0.4ポイント）と、ほぼ横ばいとなる見込み。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、製造業は、電力料金の値上げによるコスト増や、エコカー補助金終了後の反動減の懸念などからマイナス幅が拡大。卸売業、小売業は、夏物需要の本格化を見込むことから改善。サービス業は、飲食店等において水産物など価格上昇が懸念されることなどから悪化の見込み。

【売上（受注・出荷）についての判断】

○ 売上面では、全産業合計の売上DIは▲19.8（前月比▲4.3ポイント）と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業は、住宅エコポイント制度終了に伴うリフォーム工事の減少等により低調。製造業は、コストダウン要請により受注単価が下落していることに加え、取引先の海外生産・調達の増強により受注が減少していることから悪化。卸売業は、価格競争が激しく、販売価格が下落していることなどからマイナス幅は拡大。小売業は、天候不順等によりクールビズ・節電関連商品に期待ほどの動きがなかったほか、夏のセール時期が分散化したことにより客足が伸び悩み、大幅に悪化。サービス業は、震災の影響により昨年は中止となったイベント等が開催されるなど、観光や飲食関連で好転したことから改善。

○ 向こう3カ月（8～10月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲19.6（今月比+0.2ポイント）と、ほぼ横ばいとなる見込み。

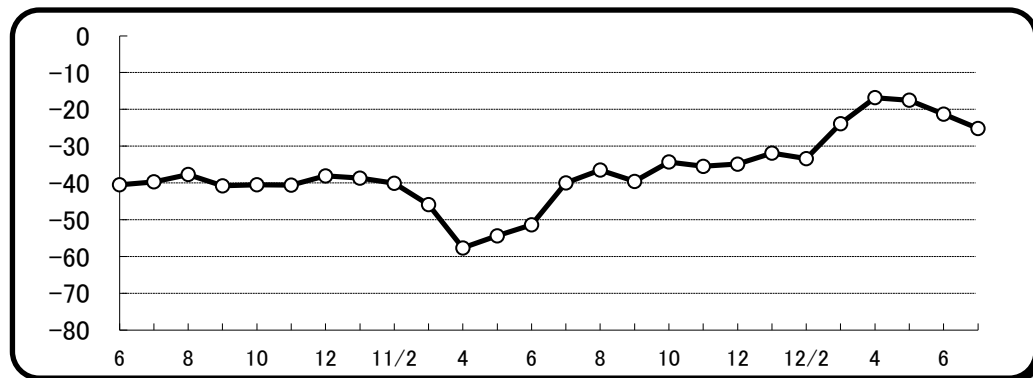
○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業は横ばい、製造業、サービス業は悪化、その他の2業種については改善する見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
全産業	▲33.4	▲23.9	▲16.8	▲17.5	▲21.3	▲25.2	▲24.8
建設	▲29.1	▲33.6	▲24.0	▲24.9	▲19.1	▲25.8	▲26.3
製造	▲27.6	▲15.3	▲9.5	▲7.5	▲13.7	▲18.1	▲22.2
卸売	▲27.6	▲27.4	▲17.3	▲14.0	▲14.5	▲23.6	▲17.9
小売	▲42.0	▲30.0	▲27.5	▲29.3	▲34.2	▲43.1	▲36.0
サービス	▲36.2	▲18.1	▲9.6	▲13.8	▲21.5	▲15.6	▲19.0

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3カ月の先行き見通しDI

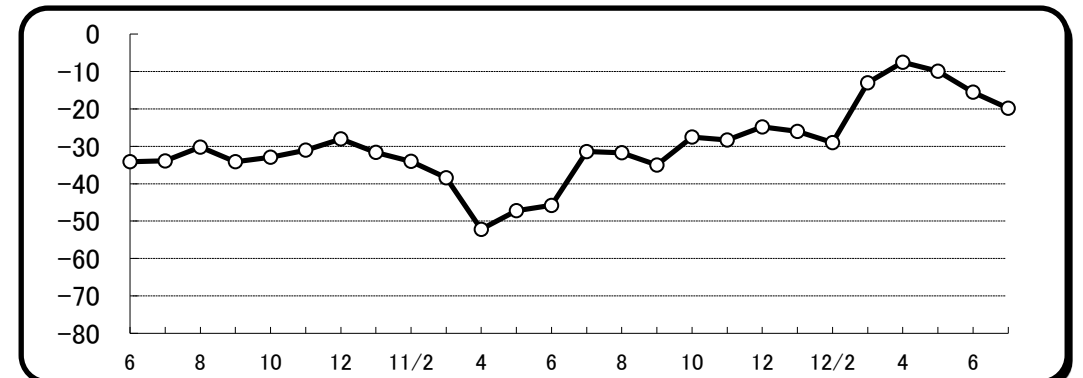
《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
全産業	▲29.0	▲13.0	▲7.5	▲9.9	▲15.5	▲19.8	▲19.6
建設	▲24.7	▲19.7	▲14.7	▲17.6	▲12.3	▲16.2	▲16.2
製造	▲20.2	▲5.5	0.8	0.5	▲7.5	▲13.0	▲17.9
卸売	▲28.4	▲11.6	▲9.3	▲6.7	▲9.5	▲20.7	▲15.7
小売	▲36.8	▲18.1	▲15.5	▲22.6	▲30.3	▲38.8	▲31.7
サービス	▲33.5	▲11.4	▲3.3	▲5.4	▲14.6	▲10.3	▲13.6

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



【採算の状況についての判断】

○ 採算面では、全産業合計の採算D Iは▲22.1（前月比▲2.7ポイント）と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみると、製造業は、電力料金の値上げによるコスト増や、取引先からのコストダウン要請により受注単価が下落していることなどにより悪化。卸売業は、穀物や水産物等、一部の原材料価格が上昇している一方で、価格競争が激しく、販売価格が下落していることなどからマイナス幅が拡大。小売業は、大手専門店等との価格競争に加え、天候不順等により夏物商品の売上が伸び悩んだことから悪化。サービス業は、震災の影響により昨年は中止となったイベント等が開催されるなど、観光や飲食関連で売上が好転したことから改善。

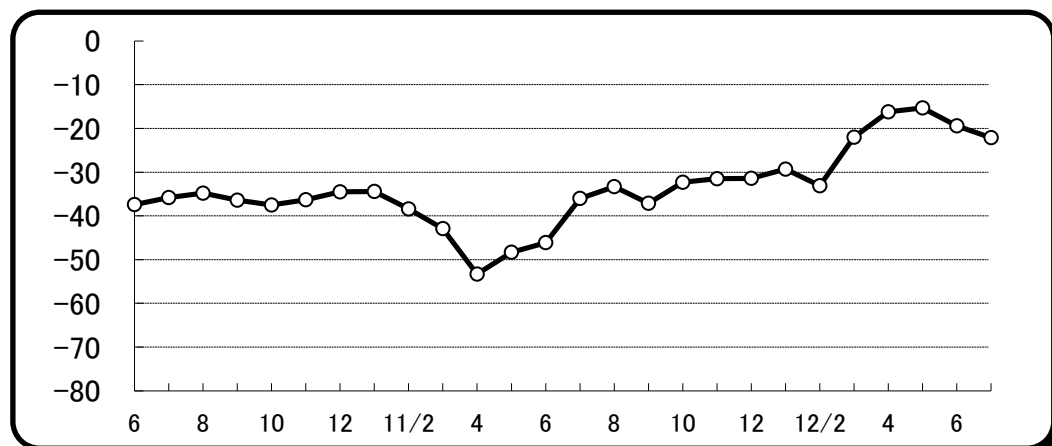
○ 向こう3カ月（8～10月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算D I（今月比ベース）は▲22.1と、今月と比べ、横ばいを見込んでいる。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、小売業は、マイナス幅が縮小、その他の4業種はほぼ横ばいの見込み。

採算D I（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
全産業	▲33.1	▲22.0	▲16.2	▲15.3	▲19.4	▲22.1	▲22.1
建設	▲35.2	▲34.0	▲22.7	▲26.4	▲22.8	▲23.5	▲24.1
製造	▲26.7	▲15.2	▲13.1	▲6.7	▲14.7	▲17.1	▲18.0
卸売	▲27.6	▲18.9	▲13.6	▲11.2	▲9.5	▲16.1	▲16.8
小売	▲37.2	▲25.7	▲20.1	▲21.9	▲28.3	▲35.3	▲32.8
サービス	▲36.7	▲18.2	▲12.6	▲13.4	▲18.6	▲16.4	▲17.1

《採算D I（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りD I（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
全産業	▲19.5	▲16.9	▲9.7	▲10.7	▲12.7	▲13.0	▲15.3
建設	▲21.9	▲23.5	▲14.9	▲12.8	▲15.2	▲19.8	▲21.4
製造	▲15.3	▲10.6	▲5.2	▲6.5	▲7.0	▲9.7	▲14.0
卸売	▲10.3	▲13.0	▲5.0	▲5.6	▲4.5	▲4.1	▲5.8
小売	▲24.0	▲18.3	▲13.9	▲15.0	▲16.9	▲18.8	▲18.3
サービス	▲22.1	▲19.2	▲9.6	▲12.0	▲17.1	▲10.8	▲14.4

D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の資金繰りD Iは▲13.0と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、製造業、小売業は悪化。卸売業は、ほぼ横ばい、サービス業は、売上が増加していることから改善した。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ拡大する見込み。産業別にみると、小売業は、ほぼ横ばい、その他の4業種でマイナス幅が拡大する見込み。

仕入単価D I（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
全産業	▲21.6	▲29.0	▲30.1	▲25.1	▲19.3	▲15.2	▲14.8
建設	▲30.0	▲35.8	▲38.1	▲35.5	▲25.5	▲26.2	▲22.9
製造	▲26.1	▲35.9	▲34.3	▲29.0	▲21.0	▲14.3	▲13.8
卸売	▲10.3	▲23.8	▲24.1	▲20.8	▲19.0	▲12.1	▲14.0
小売	▲15.1	▲19.7	▲21.5	▲16.1	▲11.4	▲7.8	▲6.8
サービス	▲23.1	▲29.4	▲31.7	▲25.3	▲21.3	▲17.9	▲19.1

D I = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の仕入単価D Iは▲15.2と、前月からマイナス幅が縮小。3カ月連続の改善。産業別にみると、建設業は、ほぼ横ばい、その他の4業種で改善した。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べほぼ横ばいとなる見込み。産業別にみると、建設業は、マイナス幅が縮小、製造業、小売業は、ほぼ横ばい、その他の2業種は悪化する見込み。

従業員D I（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
全産業	▲2.8	▲3.3	0.1	▲1.7	▲0.3	▲0.8	▲0.5
建設	▲5.7	▲6.3	▲3.5	▲7.2	▲4.1	▲1.3	1.8
製造	▲4.8	▲4.7	▲2.6	▲4.0	▲0.2	▲3.3	▲4.8
卸売	▲5.1	▲5.5	▲4.3	▲6.2	▲7.8	▲5.7	▲7.0
小売	0.3	▲3.3	3.4	0.5	1.6	▲0.8	1.4
サービス	▲0.9	1.1	3.9	4.1	4.0	4.5	4.0

D I = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の従業員D Iは▲0.8と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、卸売業は、人手過剰感が弱まったが、製造業は、人手過剰感が強まった。サービス業は、ほぼ横ばい。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、今月と比べ、ほぼ横ばいで推移する見込み。産業別にみると、建設業、小売業は、人手不足感が強まるが、サービス業は、ほぼ横ばい、製造業、卸売業は人手不足感が強まる見込み。

2012年7月

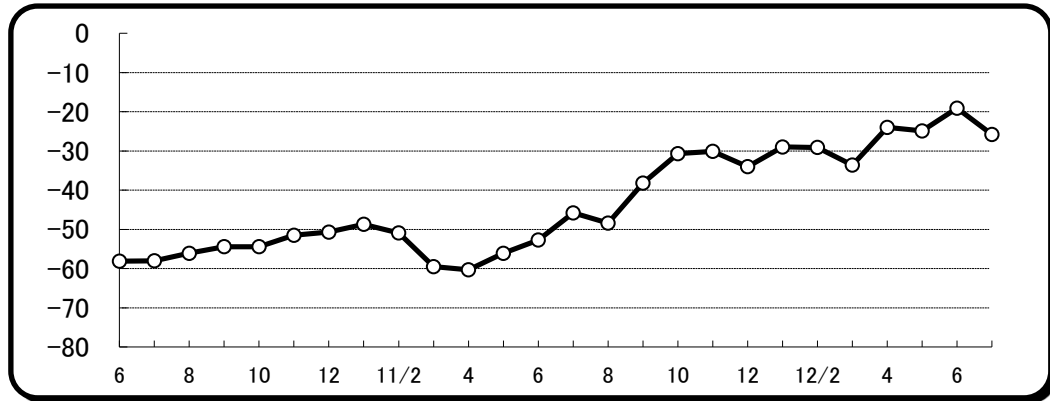
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-19.8	-19.6	-22.1	-22.1	-13.0	-15.3	-15.2	-14.8	-0.8	-0.5	-25.2	-24.8
北海道	-18.4	-10.3	-16.1	-11.5	-8.0	-11.5	-12.6	-10.3	-2.3	-4.6	-25.3	-20.7
東北	-11.5	0.0	-16.4	-4.1	0.0	-5.9	-18.9	-21.5	13.9	9.9	-3.3	-1.7
北陸信越	-13.5	-18.6	-17.3	-19.9	-15.6	-13.6	-15.5	-14.9	-2.6	0.6	-21.8	-22.6
関東	-18.3	-22.7	-22.5	-27.8	-12.9	-17.6	-15.0	-17.8	-0.4	-0.7	-25.9	-28.1
東海	-7.4	-15.3	-15.3	-23.3	-10.6	-11.7	-11.5	-7.0	2.4	2.0	-12.7	-19.0
近畿	-31.9	-28.0	-28.3	-23.3	-18.9	-18.4	-11.0	-11.1	-1.2	-0.6	-37.6	-33.5
中国	-28.7	-30.6	-28.7	-26.5	-17.3	-19.4	-16.0	-17.2	-10.9	-4.0	-31.7	-32.0
四国	-32.5	-11.1	-30.8	-18.8	-15.5	-12.9	-23.1	-14.5	-6.8	-6.8	-37.1	-23.3
九州	-26.7	-30.0	-25.2	-24.6	-16.3	-21.1	-17.1	-16.4	-3.8	-3.1	-35.4	-34.1
建設												
全国	-16.2	-16.2	-23.5	-24.1	-19.8	-21.4	-26.2	-22.9	-1.3	1.8	-25.8	-26.3
北海道	-7.1	-21.4	-14.3	-21.4	-21.4	-28.6	-50.0	-14.3	-14.3	-14.3	-21.4	-28.6
東北	12.5	13.0	-8.3	-8.7	8.3	-8.7	-37.5	-52.2	20.8	17.4	8.3	-4.3
北陸信越	-6.7	-34.5	-20.0	-34.5	-25.0	-29.6	-26.7	-27.6	3.3	0.0	-26.7	-37.9
関東	-21.5	-15.2	-22.7	-27.3	-26.6	-25.0	-28.1	-21.9	-1.5	4.6	-23.1	-28.8
東海	-28.6	-3.6	-28.6	-21.4	-21.4	-14.8	-14.3	-17.9	0.0	10.7	-35.7	-14.3
近畿	-5.6	-22.2	-11.1	-11.1	-5.3	-5.3	5.3	0.0	-5.6	0.0	-16.7	-22.2
中国	0.0	-18.2	-27.3	-36.4	-18.2	-27.3	-18.2	-27.3	27.3	27.3	-27.3	-27.3
四国	-33.3	-4.8	-28.6	-9.5	-19.0	-14.3	-38.1	-23.8	-14.3	-9.5	-28.6	-23.8
九州	-38.9	-50.0	-55.6	-44.4	-38.9	-38.9	-27.8	-16.7	-27.8	-27.8	-72.2	-50.0
製造												
全国	-13.0	-17.9	-17.1	-18.0	-9.7	-14.0	-14.3	-13.8	-3.3	-4.8	-18.1	-22.2
北海道	-25.0	-31.3	-6.3	-18.8	-12.5	-25.0	12.5	0.0	-6.3	-18.8	-25.0	-31.3
東北	-22.2	14.8	-14.8	14.8	0.0	0.0	-11.1	-11.1	11.1	3.7	-3.7	-3.8
北陸信越	-19.4	-12.5	-16.1	-15.6	-10.0	-3.2	-16.7	-16.1	-3.2	3.1	-22.6	-6.3
関東	-16.5	-32.2	-27.0	-33.9	-10.4	-19.1	-18.3	-20.0	-7.8	-11.3	-27.0	-30.4
東海	10.9	-3.2	0.0	-7.9	-7.8	-12.5	-10.9	-3.1	6.3	3.1	4.7	-17.2
近畿	-12.8	-19.6	-19.1	-10.9	-14.9	-14.9	-8.5	-8.5	-4.3	-6.4	-25.5	-23.4
中国	-18.2	-18.8	-21.2	-22.6	-15.2	-27.3	-9.1	-21.2	-15.2	-9.1	-18.2	-33.3
四国	-28.6	-14.3	-25.0	-17.9	-10.7	0.0	-35.7	-14.3	0.0	0.0	-28.6	-10.7
九州	-9.7	-22.6	-9.7	-16.1	-3.2	-12.9	-16.1	-19.4	-6.5	-3.2	-16.1	-25.8

2012年7月

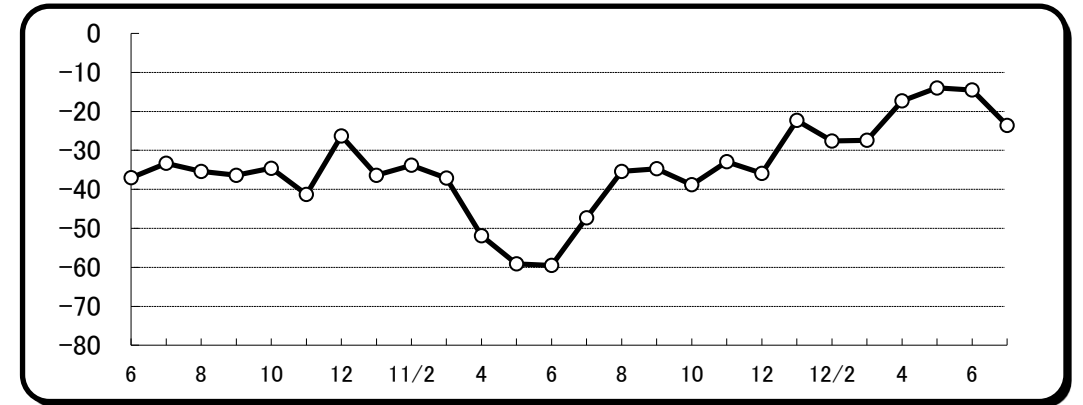
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-20.7	-15.7	-16.1	-16.8	-4.1	-5.8	-12.1	-14.0	-5.7	-7.0	-23.6	-17.9
北海道	-25.0	12.5	-37.5	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-12.5	0.0	-12.5	12.5
東北	-30.0	0.0	-10.0	-10.0	-20.0	-20.0	-10.0	-20.0	10.0	-10.0	-30.0	0.0
北陸信越	-11.1	-5.6	-5.6	0.0	-5.9	0.0	-22.2	-11.1	-5.6	0.0	-27.8	-27.8
関東	-9.8	-18.0	-16.4	-26.2	3.3	-6.6	-6.6	-21.7	-3.3	-3.3	-18.0	-19.7
東海	0.0	-11.1	0.0	-33.3	5.6	0.0	-5.6	-5.6	-33.3	-33.3	-5.6	-5.6
近畿	-31.3	20.0	-18.8	20.0	-12.5	6.7	-6.3	-13.3	-6.3	0.0	-31.3	-6.7
中国	-46.7	-57.1	-26.7	-26.7	-21.4	-14.3	-13.3	-13.3	-6.7	-14.3	-40.0	-40.0
四国	-45.5	-27.3	-45.5	-27.3	-18.2	-18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	-63.6	-36.4
九州	-35.3	-35.3	-5.9	-11.8	0.0	-5.9	-41.2	-17.6	5.9	-5.9	-11.8	-17.6
小売												
全国	-38.8	-31.7	-35.3	-32.8	-18.8	-18.3	-7.8	-6.8	-0.8	1.4	-43.1	-36.0
北海道	-28.0	-12.0	-16.0	-8.0	-8.0	-8.0	-8.0	-4.0	0.0	-4.0	-36.0	-24.0
東北	-13.3	-16.7	-26.7	-20.0	-6.9	-17.9	-6.7	-10.0	3.3	6.7	-20.0	-13.3
北陸信越	-23.5	-26.5	-20.6	-32.4	-9.7	-6.5	-2.9	-9.1	0.0	-5.9	-23.5	-30.3
関東	-36.5	-27.9	-31.7	-30.8	-15.5	-15.5	-1.9	-5.8	6.8	7.8	-42.3	-36.5
東海	-45.0	-47.5	-47.5	-47.5	-16.2	-19.4	-7.5	-2.5	2.5	2.5	-42.5	-42.5
近畿	-52.3	-54.5	-36.4	-47.7	-25.6	-34.9	-16.7	-7.3	-4.7	0.0	-54.5	-54.5
中国	-56.5	-52.2	-56.5	-34.8	-40.9	-22.7	-9.1	0.0	-34.8	-13.0	-65.2	-47.8
四国	-50.0	-13.3	-40.0	-26.7	-23.3	-16.7	-30.0	-20.0	-3.3	-6.7	-50.0	-26.7
九州	-45.5	-30.3	-48.5	-36.4	-32.3	-22.6	0.0	-3.2	-3.0	6.3	-56.3	-37.5
サービス												
全国	-10.3	-13.6	-16.4	-17.1	-10.8	-14.4	-17.9	-19.1	4.5	4.0	-15.6	-19.0
北海道	-8.3	4.2	-16.7	-8.3	0.0	0.0	-8.3	-25.0	8.3	8.3	-20.8	-16.7
東北	-12.9	-6.5	-16.1	0.0	6.5	6.5	-25.8	-19.4	22.6	19.4	12.9	12.9
北陸信越	-7.0	-11.6	-18.6	-11.6	-22.0	-22.0	-14.0	-11.6	-7.1	4.8	-14.0	-16.3
関東	-5.6	-15.0	-12.0	-19.6	-14.2	-20.0	-21.3	-22.4	2.8	0.9	-15.0	-21.7
東海	7.5	-13.2	-7.5	-20.8	-9.6	-7.7	-16.0	-10.0	10.9	7.3	-1.8	-10.9
近畿	-43.9	-29.3	-41.5	-32.5	-25.6	-20.5	-17.5	-22.5	10.0	5.0	-45.0	-37.5
中国	-15.8	-11.1	-10.5	-16.7	11.1	0.0	-36.8	-26.3	0.0	5.3	-10.5	-5.6
四国	-11.1	-3.7	-22.2	-14.8	-7.7	-19.2	-3.7	-11.1	-14.8	-14.8	-26.9	-26.9
九州	-12.5	-22.6	-9.4	-16.1	-9.4	-25.8	-15.6	-25.8	6.3	3.2	-25.0	-38.7

業況DI（前年同月比）の推移（全国）

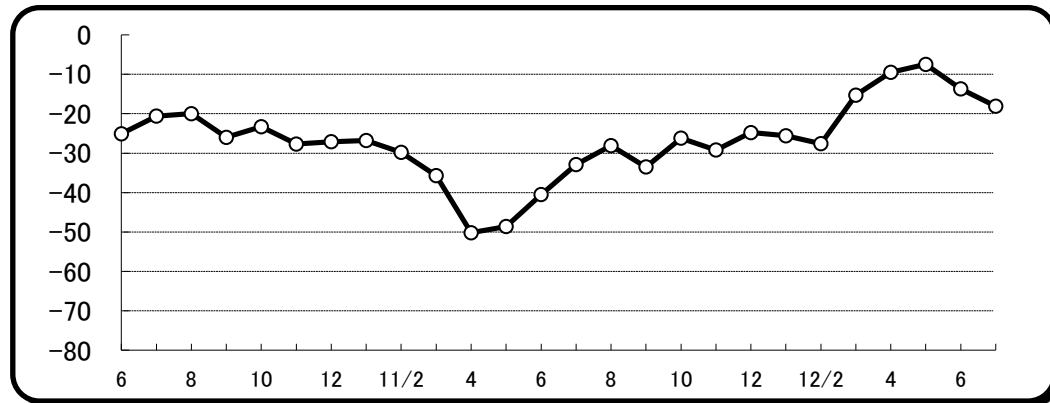
建設業



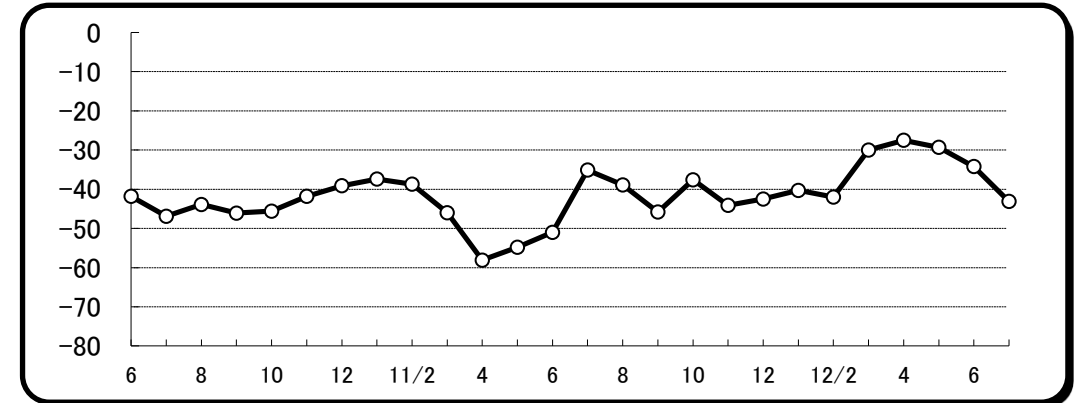
卸売業



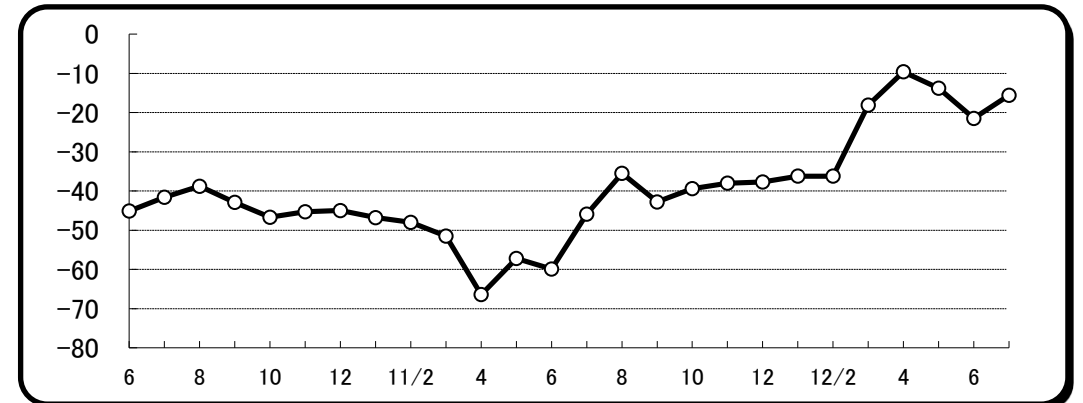
製造業



小売業



サービス業



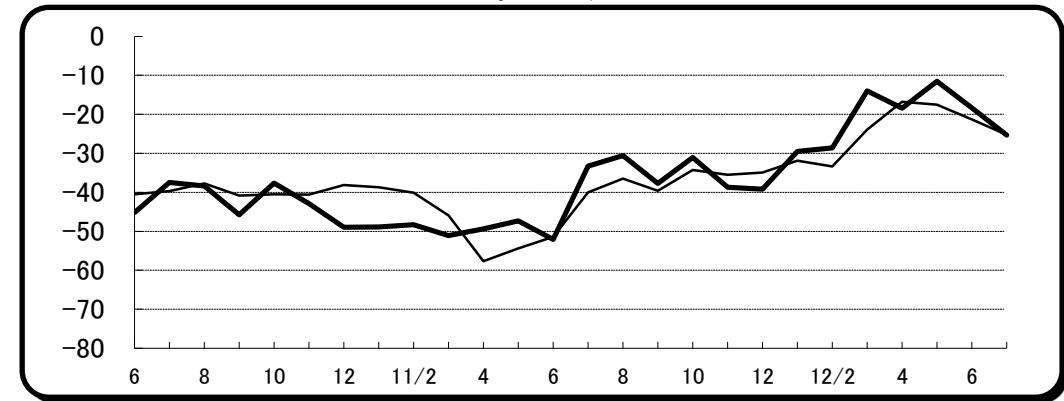
【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、卸売業、小売業が改善、その他の3業種で悪化した。
 ○建築工事業からは、「工事の発注が増える時期であるが、いまだ仕事量が少なく、厳しい状況」とのコメント。木製品製造業からは、「海外から安価な木製品が大量に流入してきている」とのコメント。商店街からは、「冷夏の影響で、夏物家電の売れ行きが悪い」との声、旅館業からは、「いまだ震災前の水準までは回復していない。特に韓国人観光客が少ないため、苦戦が続いている」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業、製造業はマイナス幅が拡大、その他の3業種は改善する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道 —— 全国

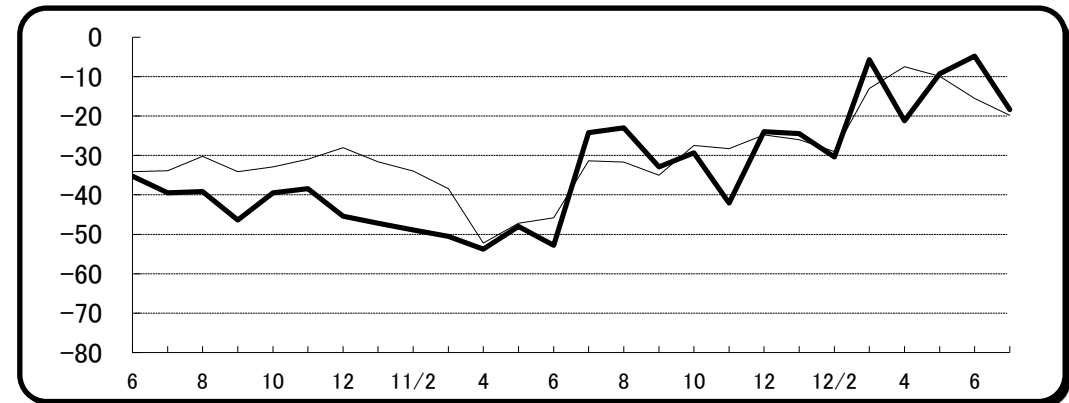
業況



全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
業況	▲ 28.6	▲ 14.0	▲ 18.4	▲ 11.5	▲ 18.3	▲ 25.3	▲ 20.7
売上	▲ 30.4	▲ 5.7	▲ 21.2	▲ 9.3	▲ 4.8	▲ 18.4	▲ 10.3
採算	▲ 26.4	▲ 15.1	▲ 21.4	▲ 12.6	▲ 6.1	▲ 16.1	▲ 11.5
資金繰り	▲ 17.6	▲ 4.7	▲ 10.2	▲ 9.4	▲ 3.7	▲ 8.0	▲ 11.5
仕入単価	▲ 23.3	▲ 22.1	▲ 17.3	▲ 14.7	▲ 12.2	▲ 12.6	▲ 10.3
従業員	▲ 5.5	▲ 5.8	0.0	1.0	2.4	▲ 2.3	▲ 4.6

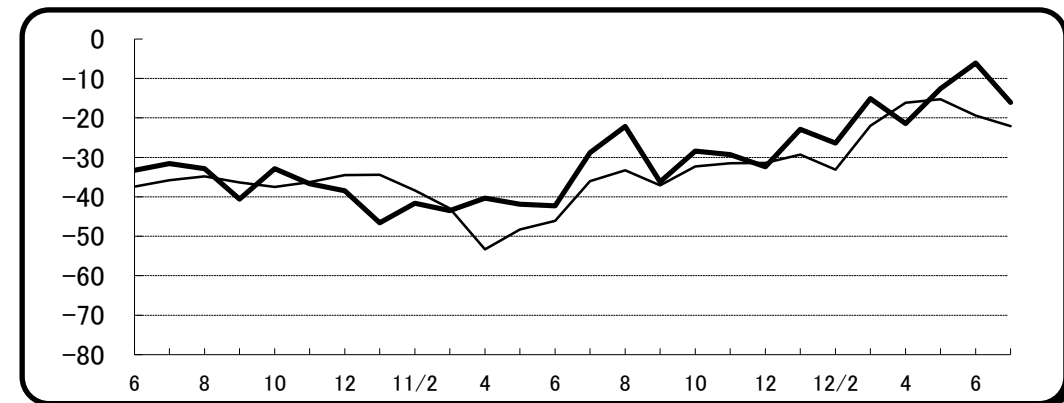
売上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
建設	▲ 5.6	▲ 5.9	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 21.4	▲ 28.6
製造	▲ 35.7	▲ 15.4	0.0	5.6	▲ 7.1	▲ 25.0	▲ 31.3
卸売	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 12.5	12.5
小売	▲ 34.8	▲ 4.8	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 47.6	▲ 36.0	▲ 24.0
サービス	▲ 32.1	▲ 25.9	▲ 22.2	▲ 6.9	▲ 8.3	▲ 20.8	▲ 16.7

採算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、卸売業で悪化、建設業、小売業は横ばい、その他の2業種で改善した。
 ○一般工事業からは、「復旧・復興工事が進み、人手不足の状態。新卒の採用を検討中」とのコメント。鉄鋼業からは、「原材料価格は低下しているものの、受注単価や販売価格の動向が不安」とのコメント。百貨店からは、「前月に続き、生活必需品は堅調に推移。お中元は動きが鈍い」との声、旅館業からは、「復興需要や市の補助事業の効果により、売上は増加傾向。ただ、人手不足のため人員の募集をしているが、応募がない」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業は悪化するものの、製造業、サービス業でほぼ横ばい、その他の2業種は改善の見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
業況	▲ 25.6	4.5	▲ 4.1	▲ 1.6	▲ 9.1	▲ 3.3	▲ 1.7
売上	▲ 23.1	3.6	9.8	9.0	▲ 1.7	▲ 11.5	0.0
採算	▲ 29.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 16.4	▲ 4.1
資金繰り	▲ 18.1	▲ 13.5	0.8	2.5	▲ 2.5	0.0	▲ 5.9
仕入単価	▲ 29.1	▲ 34.8	▲ 43.1	▲ 35.2	▲ 32.5	▲ 18.9	▲ 21.5
従業員	0.0	1.8	5.7	6.6	6.6	13.9	9.9

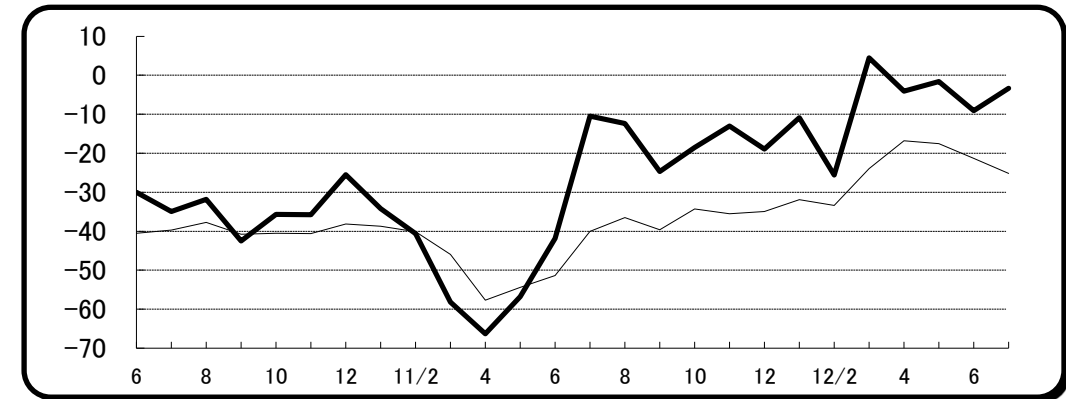
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
建設	4.8	16.7	4.2	▲ 8.7	8.3	8.3	▲ 4.3
製造	▲ 26.7	▲ 3.6	▲ 10.0	7.4	▲ 6.5	▲ 3.7	▲ 3.8
卸売	▲ 37.5	▲ 44.4	▲ 14.3	▲ 11.1	0.0	▲ 30.0	0.0
小売	▲ 13.3	13.8	▲ 12.9	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 13.3
サービス	▲ 57.1	10.7	6.5	▲ 3.1	▲ 18.5	12.9	12.9

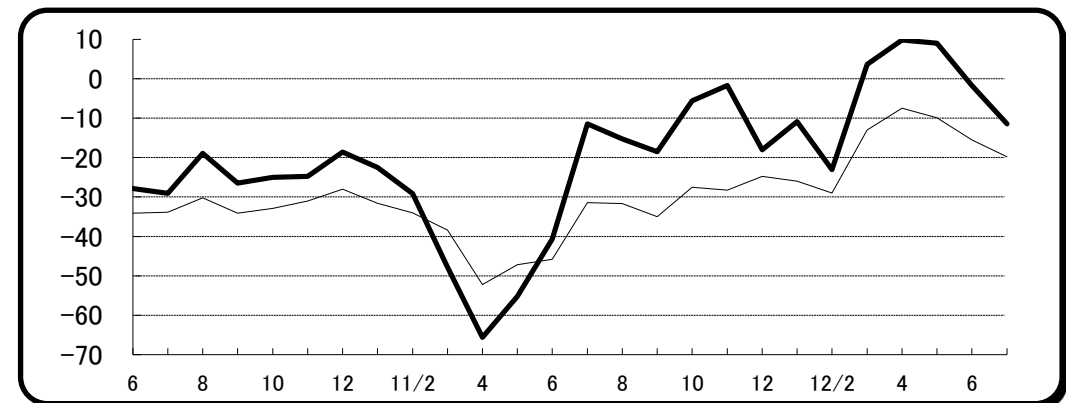
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）

—— 東北 —— 全国

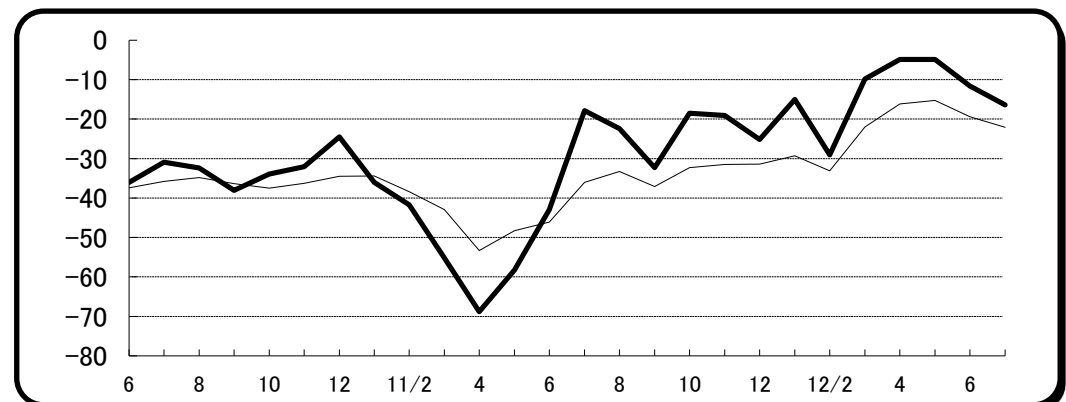
業況



売上



採算



【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅は縮小。産業別にみると、小売業はほぼ横ばい、製造業、卸売業はマイナス幅が拡大、その他の2業種でマイナス幅が縮小した。
 ○電気工事業からは、「公共工事の受注は好調なもの、秋以降の見通しが立っていない」とのコメント。医薬品製造業からは、「大手企業からの発注が減少。新規の取引先開拓が急務」とのコメント、飲食店からは、「プロパンガスが値上がりし、負担となっている。出前を取る客数も減少」とのコメント。自動車販売・整備業からは、「エコカー補助金の効果により軽自動車などが好調。補助金終了後の売上減少を懸念」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べほぼ横ばいの見込み。産業別にみると、製造業でマイナス幅が縮小、卸売業は横ばい、その他の3業種は悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
業況	▲ 41.0	▲ 22.6	▲ 20.7	▲ 17.5	▲ 24.2	▲ 21.8	▲ 22.6
売上	▲ 38.3	▲ 10.1	▲ 6.7	▲ 10.2	▲ 24.2	▲ 13.5	▲ 18.6
採算	▲ 39.6	▲ 18.2	▲ 23.0	▲ 16.9	▲ 24.8	▲ 17.3	▲ 19.9
資金繰り	▲ 29.1	▲ 15.1	▲ 17.0	▲ 13.9	▲ 15.9	▲ 15.6	▲ 13.6
仕入単価	▲ 24.8	▲ 31.2	▲ 32.6	▲ 23.4	▲ 21.6	▲ 15.5	▲ 14.9
従業員	▲ 8.2	0.6	▲ 1.5	0.7	▲ 3.3	▲ 2.6	0.6

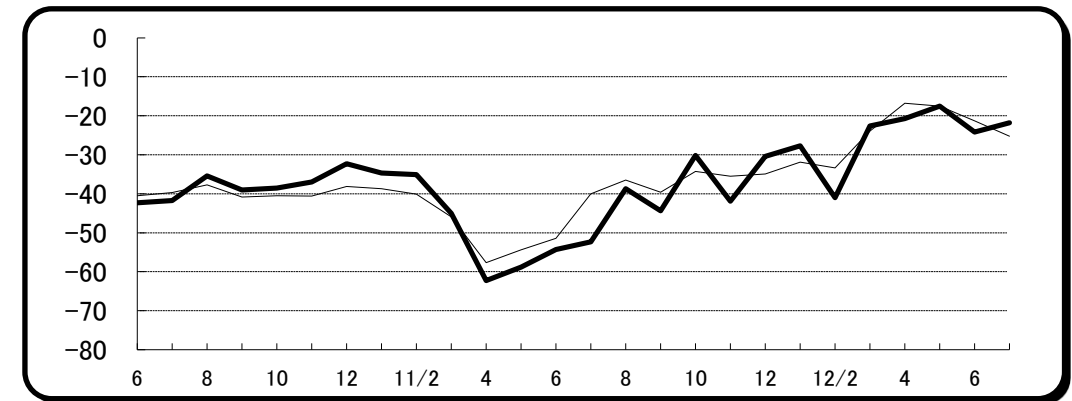
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
建設	▲ 43.3	▲ 48.5	▲ 35.7	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 26.7	▲ 37.9
製造	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 7.1	▲ 13.8	▲ 8.8	▲ 22.6	▲ 6.3
卸売	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 15.8	▲ 27.8	▲ 27.8
小売	▲ 50.0	▲ 17.6	▲ 25.9	▲ 20.0	▲ 22.9	▲ 23.5	▲ 30.3
サービス	▲ 45.5	▲ 5.1	▲ 17.9	▲ 5.3	▲ 33.3	▲ 14.0	▲ 16.3

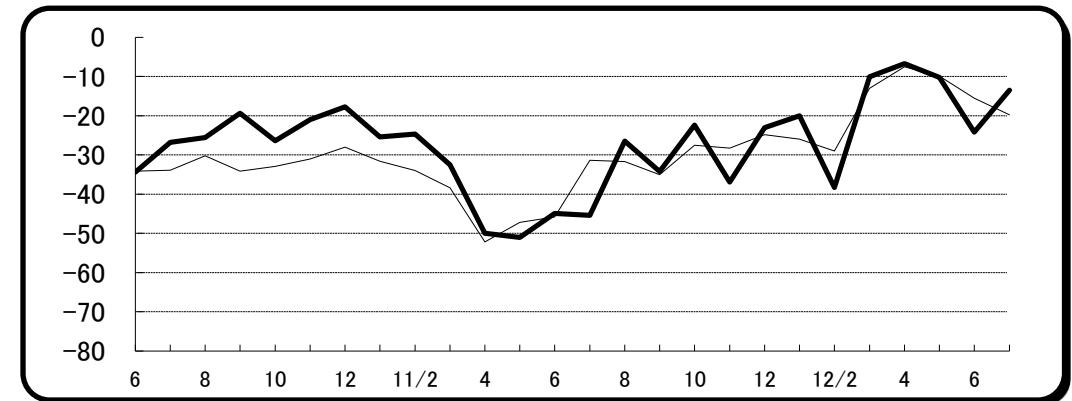
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越 —— 全国

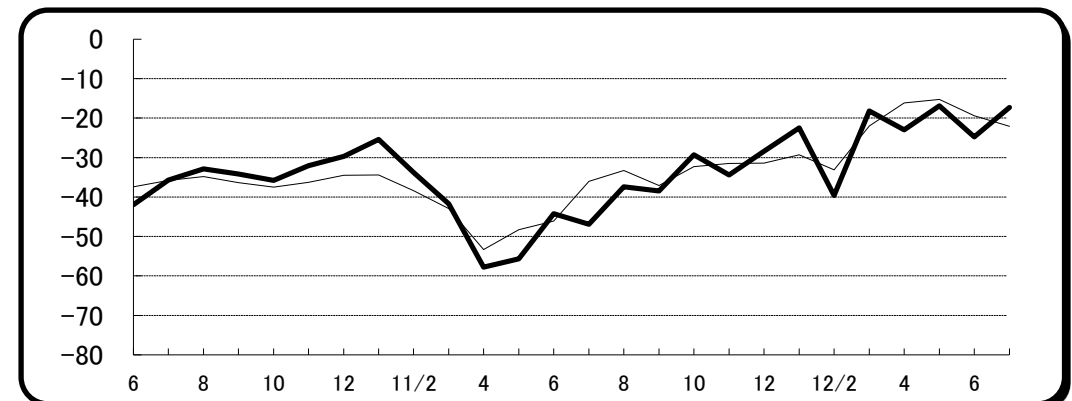
業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、サービス業はマイナス幅が縮小したものの、その他の4業種で悪化した。
 ○工作機械製造業からは、「地場産業の水産加工業が、風評被害により依然として低調。運送業や製氷業等の関連産業にまで影響が出ている」との声、食料・飲料卸売業からは、「大手の配送センターから商品が大量に流入。その影響から、自社が取り扱う商品の納入量が激減」とのコメント。百貨店からは、「お中元商戦が苦戦。来客数は減少し、購入単価も低調に推移」とのコメント。運送業からは、「節電への取り組みとして、一部の取引先が土日操業を開始。自社にも同様の対応を要請されている」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、小売業は改善するものの、その他の4業種で悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
業況	▲ 32.4	▲ 19.7	▲ 11.5	▲ 15.3	▲ 19.6	▲ 25.9	▲ 28.1
売上	▲ 25.4	▲ 5.4	3.7	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 18.3	▲ 22.7
採算	▲ 32.8	▲ 17.2	▲ 8.0	▲ 14.6	▲ 24.0	▲ 22.5	▲ 27.8
資金繰り	▲ 17.4	▲ 13.9	▲ 5.6	▲ 10.1	▲ 12.8	▲ 12.9	▲ 17.6
仕入単価	▲ 22.7	▲ 30.9	▲ 29.5	▲ 26.2	▲ 18.2	▲ 15.0	▲ 17.8
従業員	▲ 0.7	1.2	2.1	▲ 0.4	1.7	▲ 0.4	▲ 0.7

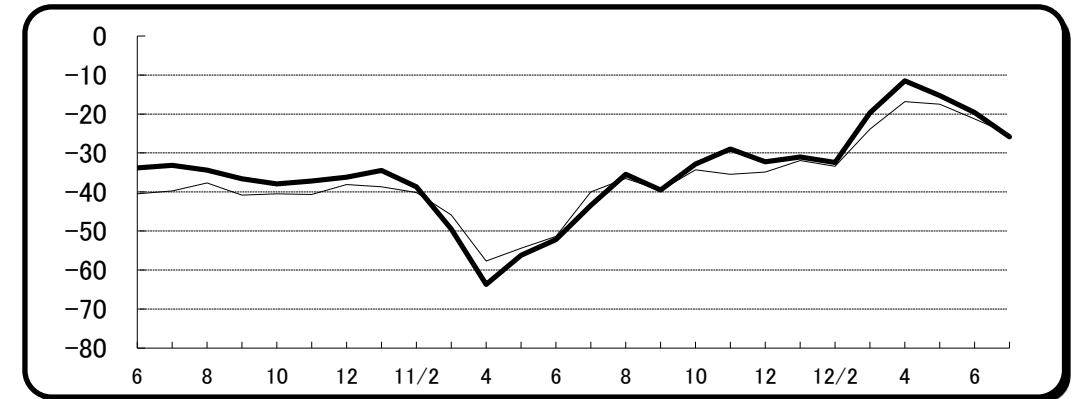
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
建設	▲ 16.7	▲ 30.0	▲ 19.4	▲ 20.8	▲ 13.7	▲ 23.1	▲ 28.8
製造	▲ 26.6	▲ 7.9	▲ 7.3	▲ 9.3	▲ 24.0	▲ 27.0	▲ 30.4
卸売	▲ 21.6	▲ 25.9	▲ 3.4	▲ 6.2	▲ 1.6	▲ 18.0	▲ 19.7
小売	▲ 48.5	▲ 23.7	▲ 29.0	▲ 25.7	▲ 24.3	▲ 42.3	▲ 36.5
サービス	▲ 37.0	▲ 16.8	0.9	▲ 13.9	▲ 24.3	▲ 15.0	▲ 21.7

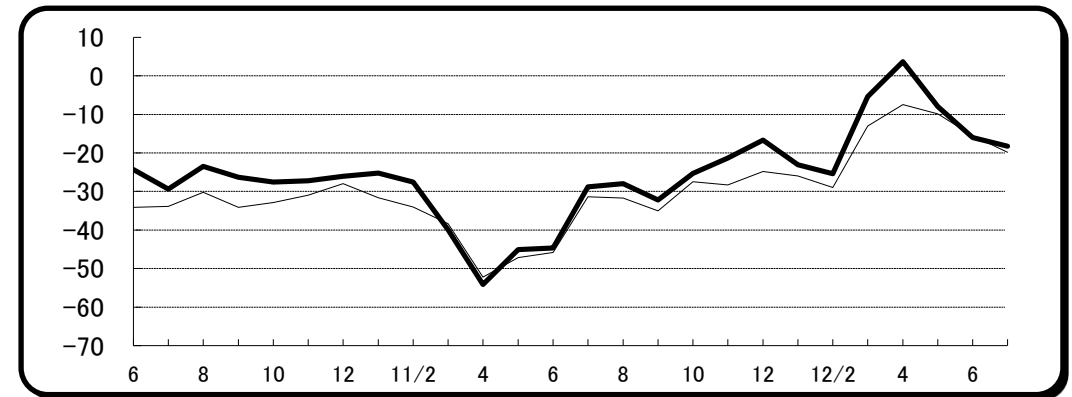
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）

—— 関東 —— 全国

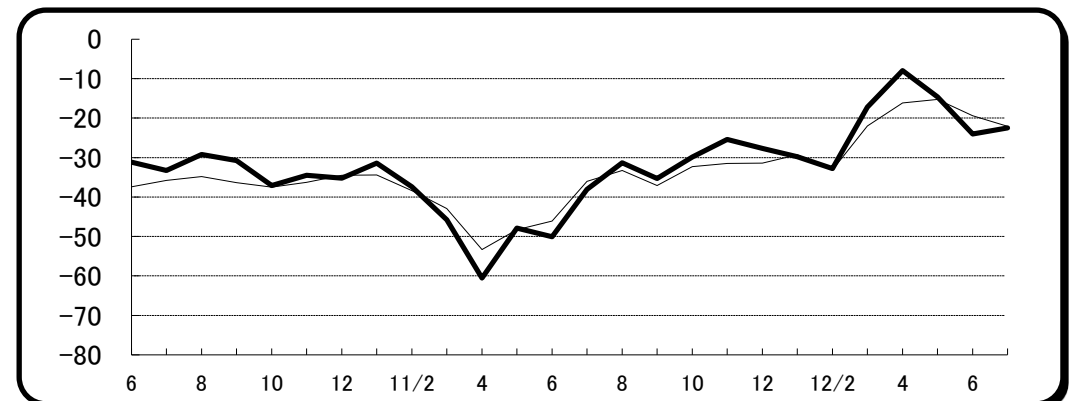
業況



売上



採算



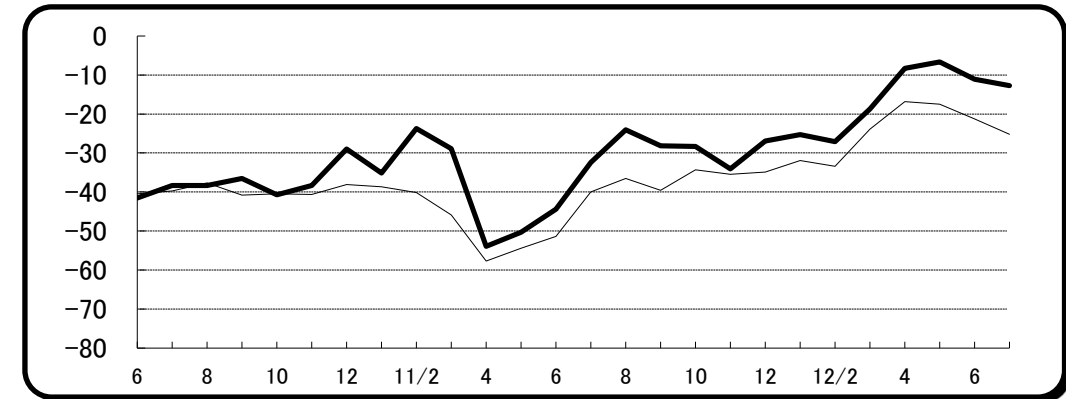
【ブロック別概況・東海】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、卸売業は改善、製造業、小売業はほぼ横ばい、その他の2業種は悪化した。
 ○航空機部品製造業からは、「取引先から繰り返しコストダウン要請があり、赤字経営が続いている」とのコメント。総合スーパーからは、「競合他店で値下げが相次ぎ、自社でも対応せざるを得ないため、利益が出ない」とのコメント。飲食店からは、「来店客1人あたりの支出額が低迷。団体や接待での利用も減っており、売上が上がらない」との声、ゴルフ場からは、「震災以降、利用者数が低調に推移。いまだ震災前の水準まで戻っていない」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、建設業は改善するものの、卸売業、小売業はほぼ横ばい、その他の2業種で悪化する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）

——— 東海 —— 全国

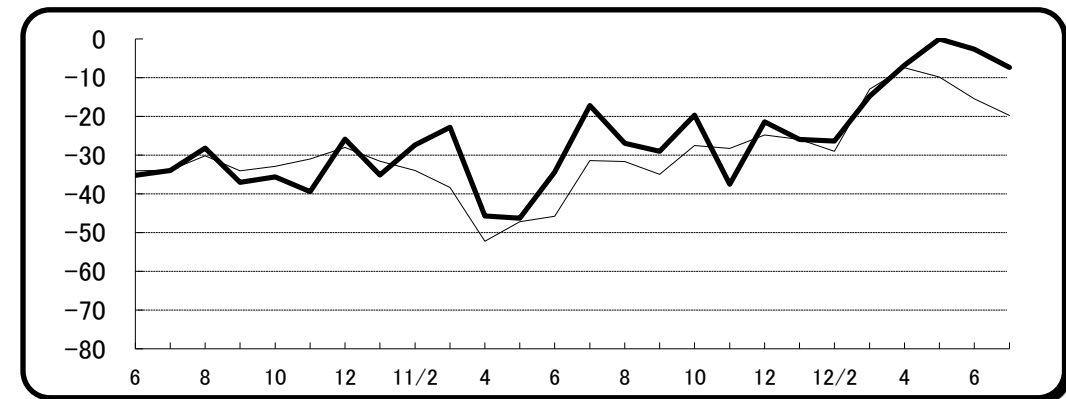
業 況



全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
業 況	▲ 27.1	▲ 18.7	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 11.1	▲ 12.7	▲ 19.0
売 上	▲ 26.4	▲ 14.8	▲ 6.8	0.0	▲ 2.7	▲ 7.4	▲ 15.3
採 算	▲ 33.6	▲ 22.1	▲ 15.1	▲ 2.9	▲ 6.3	▲ 15.3	▲ 23.3
資金繰り	▲ 12.5	▲ 11.9	▲ 6.3	▲ 7.8	▲ 12.4	▲ 10.6	▲ 11.7
仕入単価	▲ 13.8	▲ 26.3	▲ 28.0	▲ 24.0	▲ 16.1	▲ 11.5	▲ 7.0
従 業 員	0.7	▲ 5.0	5.7	0.5	3.7	2.4	2.0

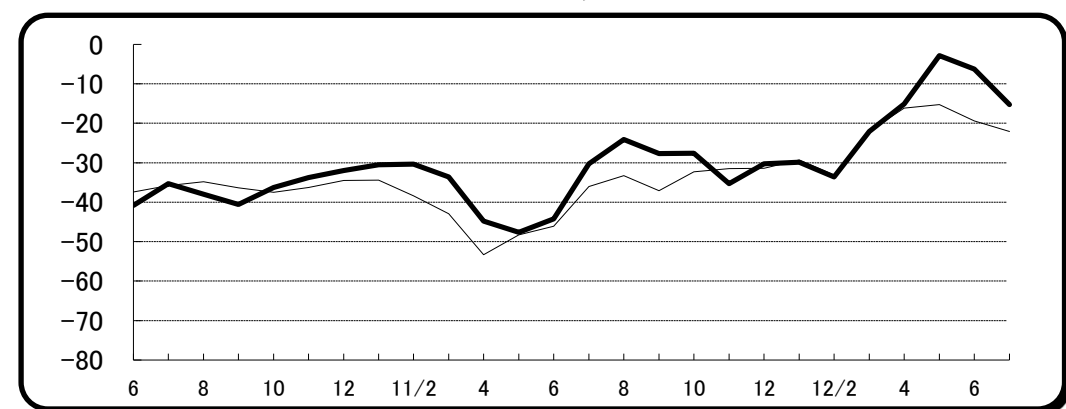
売 上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
建 設	▲ 26.3	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 30.8	▲ 17.4	▲ 35.7	▲ 14.3
製 造	▲ 19.0	0.0	7.8	14.5	5.2	4.7	▲ 17.2
卸 売	▲ 25.0	▲ 5.3	▲ 15.8	0.0	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 5.6
小 売	▲ 43.3	▲ 53.7	▲ 25.6	▲ 34.1	▲ 42.1	▲ 42.5	▲ 42.5
サービス	▲ 24.2	▲ 11.1	▲ 6.7	▲ 3.6	0.0	▲ 1.8	▲ 10.9

採 算



【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、建設業でマイナス幅が縮小したものの、その他の4業種で拡大した。
 ○一般工事業からは、「採算がとれないほどの低価格受注が当たり前になっており、この状況が続くと厳しい」との声、菓子製造業からは、「正規雇用をしたいが人件費の負担が大きく、パート・アルバイトで対応している」とコメント。総合スーパーからは、「客単価は前年度と同水準なもの、来客数が減少しているため、売上も伸び悩んでいる」。商店街からは、「夏のセール時期が分散化。一部店舗では、先んじて優待セールを実施し、顧客の困り込みをしている」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業はマイナス幅が拡大するものの、小売業は横ばい、その他の3業種は改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
業況	▲ 31.8	▲ 39.1	▲ 25.7	▲ 19.9	▲ 30.3	▲ 37.6	▲ 33.5
売上	▲ 31.8	▲ 29.2	▲ 10.7	▲ 8.2	▲ 17.2	▲ 31.9	▲ 28.0
採算	▲ 31.5	▲ 39.9	▲ 26.0	▲ 18.9	▲ 28.2	▲ 28.3	▲ 23.3
資金繰り	▲ 18.8	▲ 23.7	▲ 13.6	▲ 8.8	▲ 12.2	▲ 18.9	▲ 18.4
仕入単価	▲ 17.5	▲ 30.8	▲ 31.1	▲ 28.4	▲ 18.1	▲ 11.0	▲ 11.1
従業員	▲ 2.2	▲ 8.6	0.0	▲ 3.6	▲ 2.9	▲ 1.2	▲ 0.6

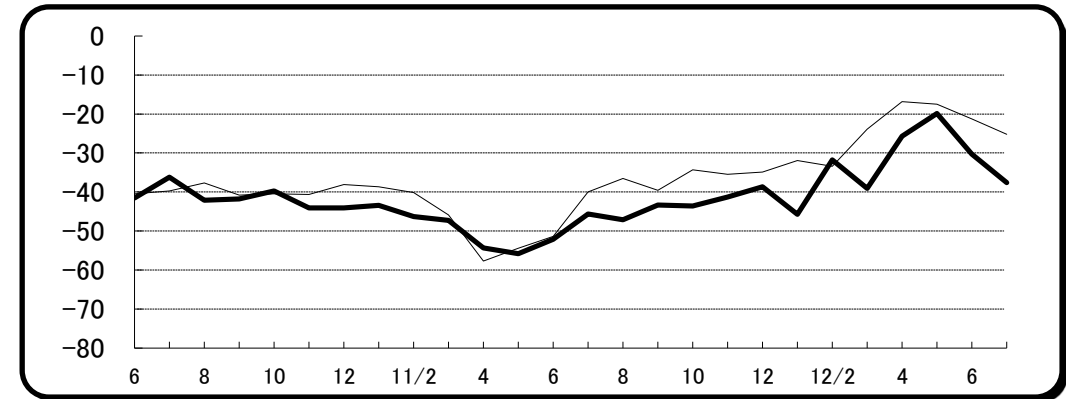
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
建設	▲ 33.3	▲ 54.2	▲ 33.3	▲ 4.8	▲ 22.2	▲ 16.7	▲ 22.2
製造	▲ 17.0	▲ 31.9	▲ 15.4	▲ 13.2	▲ 11.3	▲ 25.5	▲ 23.4
卸売	▲ 6.3	▲ 22.2	▲ 37.5	▲ 26.3	▲ 21.1	▲ 31.3	▲ 6.7
小売	▲ 41.7	▲ 46.2	▲ 29.5	▲ 29.1	▲ 47.7	▲ 54.5	▲ 54.5
サービス	▲ 50.0	▲ 37.2	▲ 26.3	▲ 20.8	▲ 43.9	▲ 45.0	▲ 37.5

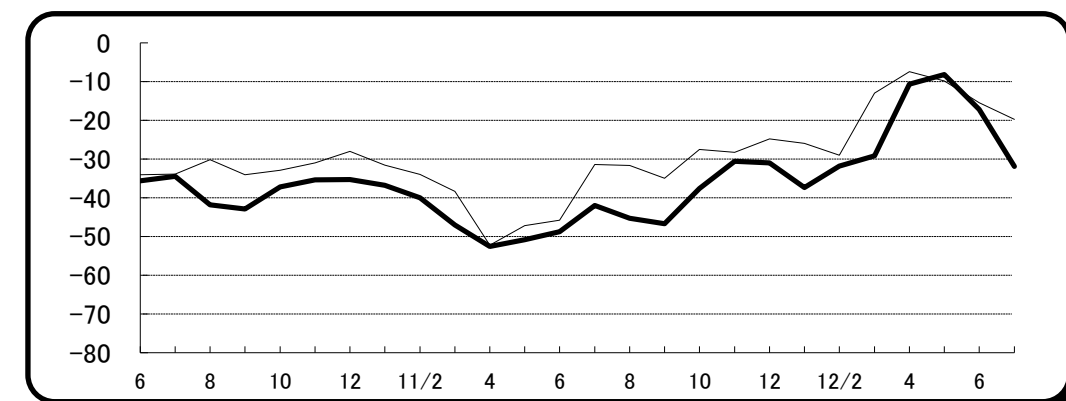
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）

近畿 全国

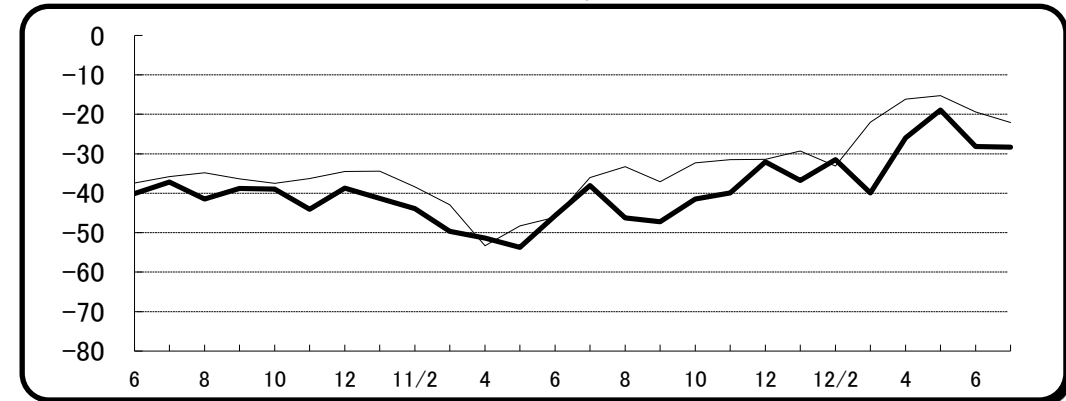
業況



売上



採算



【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、製造業、卸売業、サービス業でマイナス幅が縮小、その他の2業種でマイナス幅が拡大した。
 ○一般工事業からは、「学校の耐震工事等で動きがあった。公共工事の受注量は前年より増えたが、全体的に低調」とのコメント。金属加工業からは、「輸出比率が高いため、長引く円高により経営が圧迫されている」とのコメント。ステンレス製品製造業からは、「円高により取引先の業績が悪化。下請け企業との契約内容の見直しを進めており、自社への影響を懸念」との声、旅館業からは、「観光施設の入場者数は好調だが、周辺地域の滞在時間は短く、地元飲食店等への波及はそれほど見られない」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べほぼ横ばいの見込み。産業別にみると、建設業、卸売業は横ばい、製造業でマイナス幅が拡大するものの、その他の2業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
業況	▲ 51.4	▲ 51.5	▲ 30.0	▲ 30.2	▲ 27.5	▲ 31.7	▲ 32.0
売上	▲ 48.6	▲ 39.8	▲ 21.1	▲ 29.2	▲ 26.5	▲ 28.7	▲ 30.6
採算	▲ 43.9	▲ 34.0	▲ 16.7	▲ 21.9	▲ 20.8	▲ 28.7	▲ 26.5
資金繰り	▲ 28.3	▲ 34.7	▲ 14.8	▲ 20.0	▲ 16.8	▲ 17.3	▲ 19.4
仕入単価	▲ 15.2	▲ 18.6	▲ 21.6	▲ 17.9	▲ 11.9	▲ 16.0	▲ 17.2
従業員	▲ 16.8	▲ 15.5	▲ 16.7	▲ 15.6	▲ 10.8	▲ 10.9	▲ 4.0

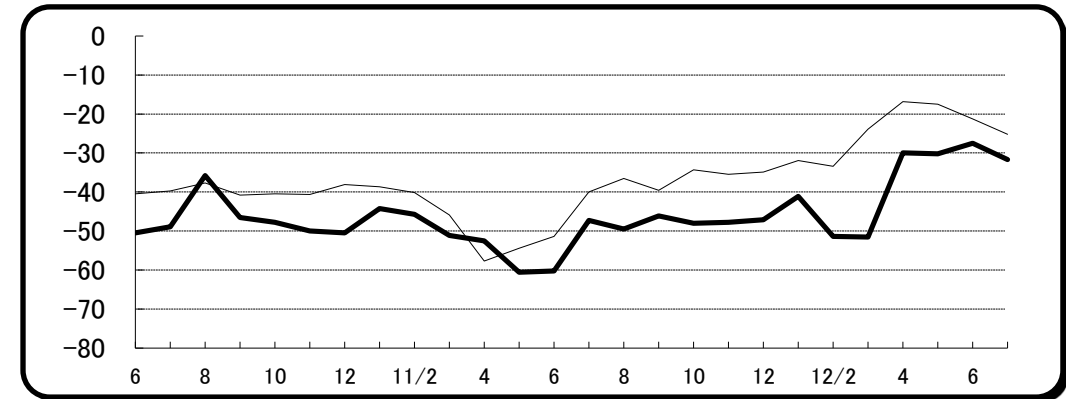
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
建設	▲ 53.8	▲ 35.7	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 27.3	▲ 27.3
製造	▲ 34.3	▲ 39.3	▲ 29.6	▲ 23.3	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 33.3
卸売	▲ 46.7	▲ 53.8	▲ 26.7	▲ 18.8	▲ 42.9	▲ 40.0	▲ 40.0
小売	▲ 59.3	▲ 75.0	▲ 38.1	▲ 40.9	▲ 48.0	▲ 65.2	▲ 47.8
サービス	▲ 76.5	▲ 45.0	▲ 29.4	▲ 44.4	▲ 20.0	▲ 10.5	▲ 5.6

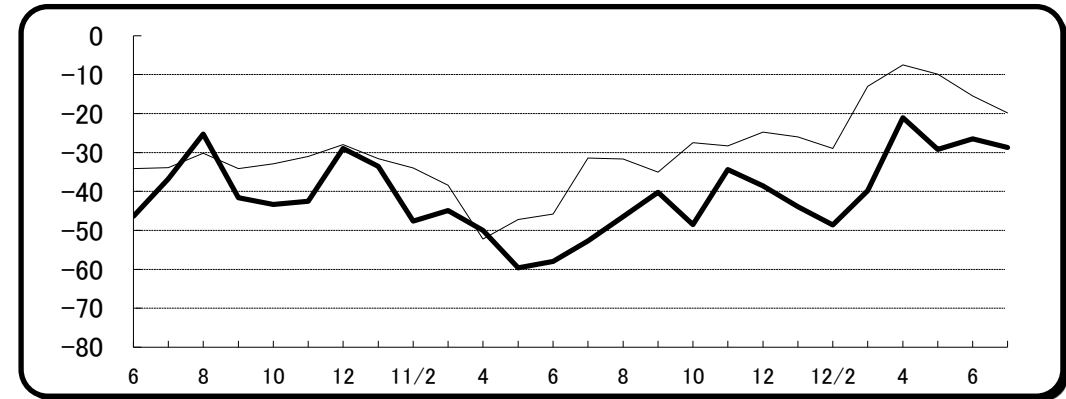
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国 —— 全国

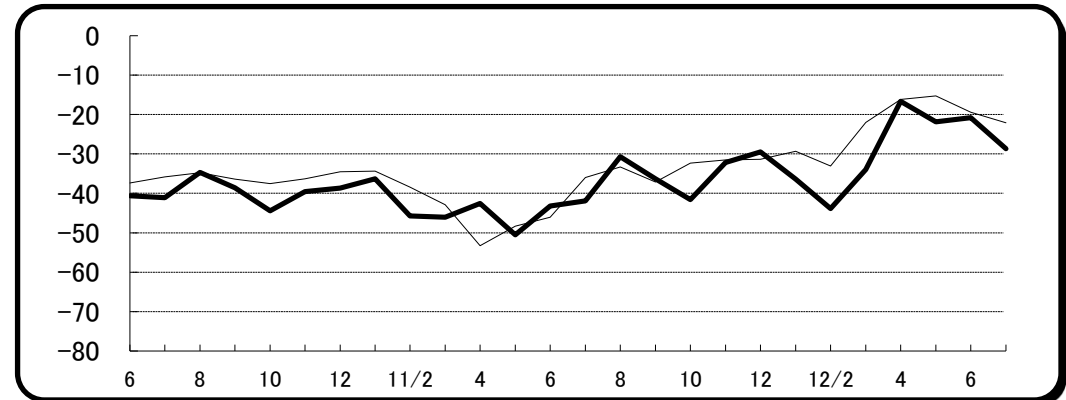
業況



売上



採算



【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、建設業でマイナス幅が縮小、その他の4業種で拡大した。
 ○建築工事業からは、「耐震工事等の受注が好調。売上、採算も上向いている」とのコメント。繊維品卸売業からは、「天候不順により季節商品の売上が低迷。また、大手小売店が取引先を買収、今後の影響を懸念」との声、百貨店からは、「ファッション関連のまとめ買いや先物買いは減少しているものの、趣味・嗜好関連が堅調」とのコメント。旅館業からは、「夏休みシーズンに入ったことから観光客は増えることが予想され、自社の業況も上向く見込み」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、サービス業は横ばい、その他の4業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
業況	▲ 37.6	▲ 27.4	▲ 21.6	▲ 37.4	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 23.3
売上	▲ 26.5	▲ 10.4	▲ 21.6	▲ 25.2	▲ 26.4	▲ 32.5	▲ 11.1
採算	▲ 36.8	▲ 23.6	▲ 25.5	▲ 21.7	▲ 24.0	▲ 30.8	▲ 18.8
資金繰り	▲ 24.8	▲ 14.3	▲ 12.9	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 15.5	▲ 12.9
仕入単価	▲ 23.1	▲ 22.6	▲ 31.4	▲ 27.8	▲ 24.0	▲ 23.1	▲ 14.5
従業員	▲ 1.7	▲ 3.8	1.0	▲ 3.5	▲ 3.3	▲ 6.8	▲ 6.8

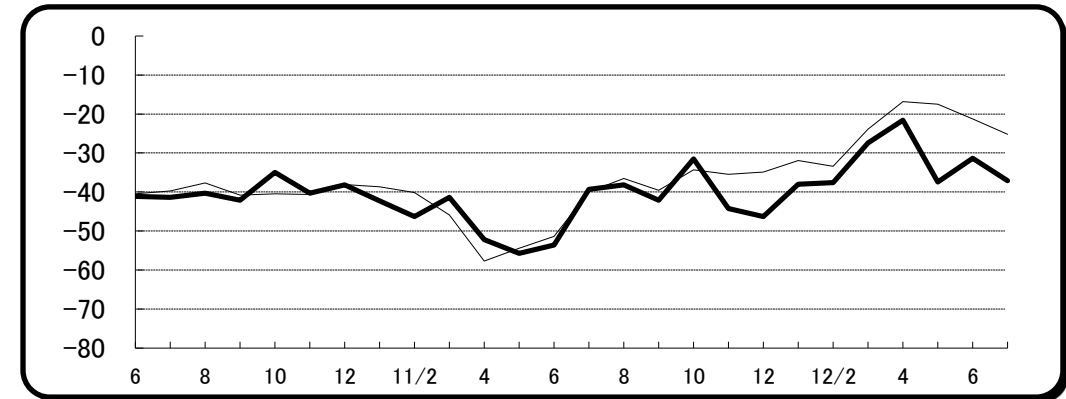
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
建設	▲ 47.4	▲ 50.0	▲ 44.4	▲ 52.4	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 23.8
製造	▲ 32.3	▲ 16.0	▲ 15.4	▲ 34.5	▲ 17.9	▲ 28.6	▲ 10.7
卸売	▲ 33.3	▲ 30.0	▲ 11.1	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 63.6	▲ 36.4
小売	▲ 48.3	▲ 30.8	▲ 20.8	▲ 44.4	▲ 43.3	▲ 50.0	▲ 26.7
サービス	▲ 27.6	▲ 18.5	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 26.9	▲ 26.9

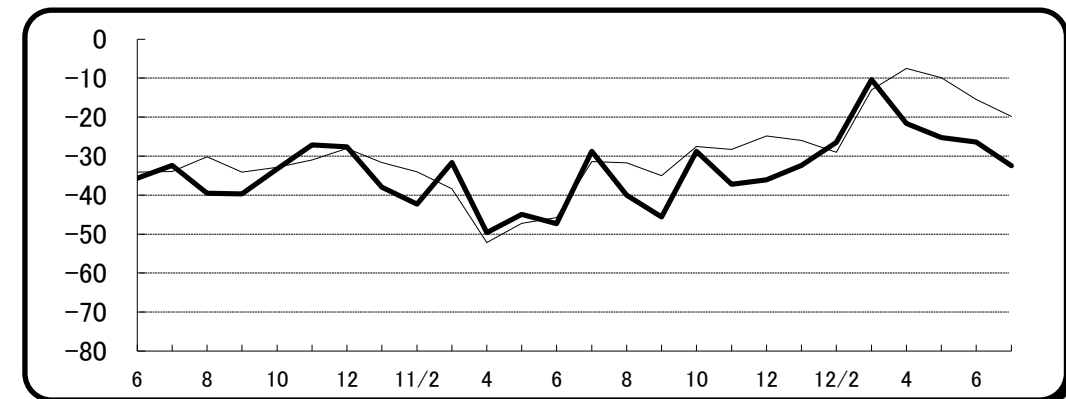
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）

—— 四国 —— 全国

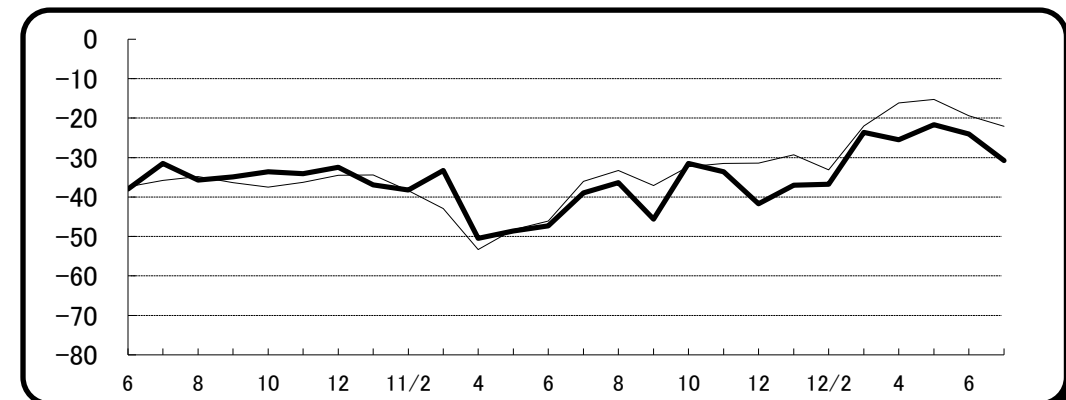
業況



売上



採算



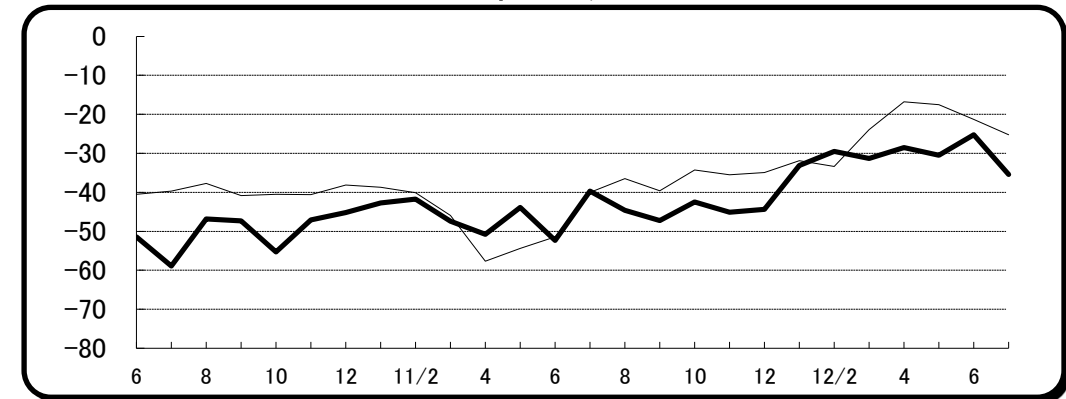
【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、製造業はマイナス幅が縮小、その他の4業種で悪化した。
 ○建築工事業からは、「住宅建設は低調。下水工事の増加が予想されるが、受注価格が低下していることから、利益は上がらない見込み」とのコメント。農畜水産物卸売業からは、「施設・設備が老朽化。修繕や買い替えが必要だが、資金に余裕がない」とのコメント。総合スーパーからは、「豪雨により、取引先の問屋が被害を受け、仕入に支障が出ている」との声、商店街からは、「郊外に大手小売店が増加したことで、商店街への来客数が減少傾向」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業、小売業はマイナス幅が縮小、その他の3業種はマイナス幅が拡大する見込み。

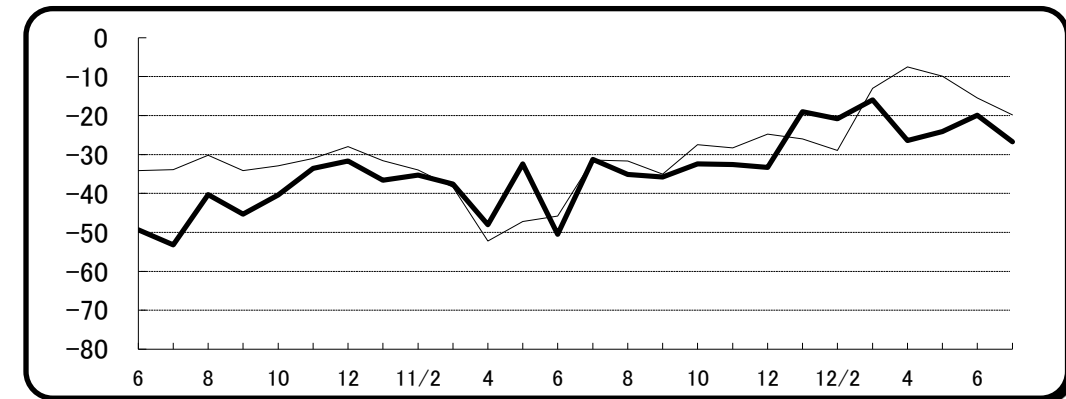
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

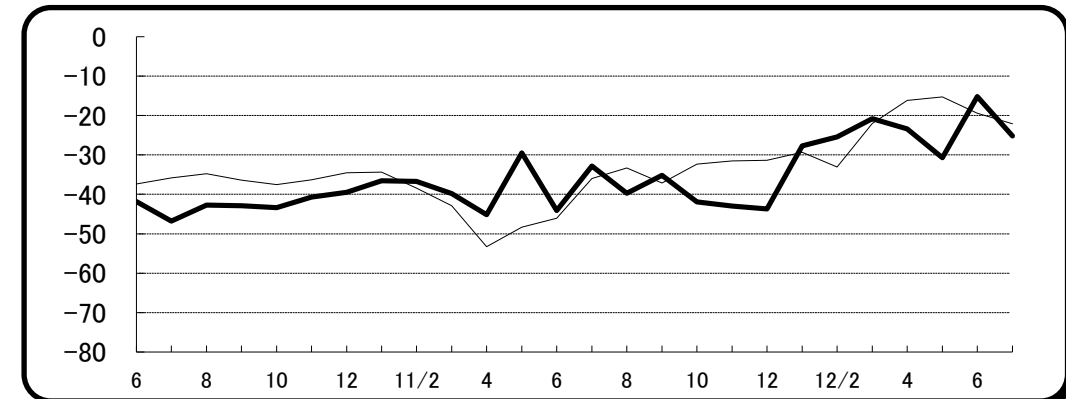
業況



売上



採算



全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
業況	▲ 29.5	▲ 31.3	▲ 28.5	▲ 30.5	▲ 25.2	▲ 35.4	▲ 34.1
売上	▲ 20.8	▲ 16.0	▲ 26.4	▲ 24.1	▲ 19.9	▲ 26.7	▲ 30.0
採算	▲ 25.4	▲ 20.8	▲ 23.4	▲ 30.7	▲ 15.2	▲ 25.2	▲ 24.6
資金繰り	▲ 15.5	▲ 26.0	▲ 18.8	▲ 14.3	▲ 16.0	▲ 16.3	▲ 21.1
仕入単価	▲ 24.8	▲ 34.6	▲ 33.3	▲ 21.1	▲ 20.0	▲ 17.1	▲ 16.4
従業員	1.6	▲ 5.4	▲ 6.9	▲ 6.4	▲ 2.6	▲ 3.8	▲ 3.1

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
建設	▲ 70.0	▲ 58.3	▲ 45.5	▲ 38.1	▲ 42.9	▲ 72.2	▲ 50.0
製造	▲ 46.4	▲ 25.8	▲ 26.5	▲ 13.8	▲ 18.2	▲ 16.1	▲ 25.8
卸売	▲ 31.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 19.0	0.0	▲ 11.8	▲ 17.6
小売	▲ 26.5	▲ 22.9	▲ 37.1	▲ 55.6	▲ 35.9	▲ 56.3	▲ 37.5
サービス	9.7	▲ 24.1	▲ 8.6	▲ 20.6	▲ 23.7	▲ 25.0	▲ 38.7